

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1914

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学		
2. 科目名	正式科目名	特別講義 I a「高大連携による留学支援講座」	クラス名
	副題		配当年次 1・2年
	旧科目名		
	学問分野	番号 45	名称 その他
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	開講責任者： 澤村雅史（広島女学院大学 国際教養学部 准教授） オムニバス形式による講義担当者については科目内容を参照。		
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	春学期集中
6. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」 (TOEIC500点または英検2級相当の英語力を有することが望ましい。)		
7. 開講期間 曜日・時間帯	平成 25 年 5 月 11 日 (土) ~ 平成 25 年 6 月 30 日 (日) 土曜日 14 時 00 分~17 時 10 分 (各回講義)、およびフィールドワーク および合宿 (日程詳細については別途告示)		
	試験期間	年 月 日 () ~	年 月 日 ()
8. 単位互換定員	25人 (総授業定員 50人)	9. 定員超過時の選考方法	抽選

10. 科目内容・授業計画	<p>〈授業の到達目標及びテーマ〉 留学を目指す高校生，大学生を対象に，事前に留学に必要な知識とプレゼンテーション能力の育成を行い，留学への不安を解消し，スムーズに留学生活を送るための準備を整えることにより，留学の効果を高める。</p> <p>〈授業の概要〉 本講義は、広島女学院大学、県立広島大学、エリザベト音楽大学、広島国際大学の連携により、講義が展開される。県内各地の高校生・大学生の参加を予定しており、参加可能な環境を整えるためテレビ会議システムを用いた遠隔授業も取り入れる。 海外留学の際、母国である日本、特に広島の文化やアジアにおける日本、広島の立場について語ることができるよう宗教、音楽、宮島、平和について学ぶ。また、グローバルな視点から思考する力をつけるため、世界全体の動きを把握する基礎知識を経済、公衆衛生の観点から得る。また、英語のみの生活とはどういったものなのか、実体験を通して、留学のイメージ作りを行う。 すべてのまとめとして、グループ研究の後、研究内容について英語でのプレゼンテーションを行う。自らの考えを英語で表現することを訓練する。</p> <p>〈授業の概要〉 ① 5月11日(土)14:00～17:10 海外留学総論・異文化コミュニケーション ② 5月12日(日)10:30 宮島栈橋前広場集合 フィールドワーク(宮島) ③ 5月18日(土)14:40～17:50 国際協力と日本の役割・招聘講師講演 ④ 5月25日(土)14:40～17:50 グローバル経済の光と影・世界と宗教 ⑤ 6月8日(土)14:00～17:10 欧米文化における音楽・雅楽で感じる伝統文化 ⑥ 6月9日(日)14:00～15:30 渡部陽一氏講演「戦場から平和を考える」 ⑦ 6月15日(土)14:40～16:10 世界の保健医療と人材育成 ⑧ 6月22日(土)14:00～15:30 プレゼンテーション準備 ⑨ 6月29日(土)・30日(日) 合宿(ディスカッション) ⑩ 6月30日(日)14:00～17:10 プレゼンテーション・総評 ※①⑥⑧⑨⑩広島女学院大学、③④⑦鯉城会館サテライトキャンパス、⑤エリザベト音楽大学</p> <p>〈テキスト〉・〈参考資料〉 各授業において指示を行う。事前にバインダー式の資料集を配布する。</p>
11. 試験・評価方法	グループ研究プレゼンテーション(50%) 各講義後のレポート(30%) 授業の参加態度(20%)
12. 別途負担費用	講義・フィールドワーク実施場所までの交通費。合宿の宿泊費および食費。
13. その他特記事項	講義科目については広島女学院大学と鯉城会館の共用サテライトキャンパスを会場とするが、遠隔地の高校生受講者に向けては、各高校にテレビ会議システムを経由して配信を行う。(詳しい会場と日時は申込後にお知らせする。)